

第 63 回資金管理業務諮問委員会 議事録(確報)

1. 日時:平成 27 年 9 月 16 日(水)10 時 00 分～12 時 00 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第 1・第 2 会議室
3. 出席者:永田委員長、大石委員、大橋委員、鬼沢委員、小島委員、酒井委員、山下委員、以上 7 名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席

※ 任期満了に伴い資金管理業務諮問委員会委員全員が新たに任命されたため、審議に先立って委員長の選出を行い永田委員が選任された。

4. 議題:①平成 27 年度第 1 四半期(4～6 月)決算報告(案)について
②平成 27 年度第 1 四半期の運用の評価について
③離島対策支援事業に関する報告書(案)について
④自動車リサイクルシステムコンタクトセンターの次期委託事業者選定について
⑤資金管理料金収支の見通しについて
⑥次期資金管理料金について
⑦リサイクル料金等収受に係る委託手数料の見直しについて

5. 議事録

(1)議題①について

平成 27 年度第 1 四半期(4～6 月)決算報告(案)について、事務局から、資料 3-1 から資料 3-7 にて説明し、案のとおり承認された。

<主な意見>

【委員】

輸出返還業務に係る10年間のまとめを今年度中に作成すること。

【事務局】

了解した。

【委員】

新車時預託台数が想定よりも下回ったのはなぜか。

【事務局】

平成27年度の想定台数は、平成26年度第3四半期までの実績に基づき策定した。

平成27年度第1四半期は、軽自動車税増税等の影響により想定より減少した。

【委員】

預託台数の実績が想定を下回ることによる影響はどんなことがあるか。

【事務局】

預託金収入が減少するため、国債等の購入に係る運用計画において資金繰りがショートしないよう注視する必要がある。

【環境省】

ASRの預託単価が前年同期実績よりも上昇している理由は何か。

【事務局】

新車販売台数における登録車の比率が、前年の57%から63%に上昇したため、単価も上昇した。

【委員】

(一社)日本自動車工業会の発表した今年度の新車販売台数見通しを基に試算した四半期毎の台数を資料3-2内の表に追記すること。

【事務局】

了解した。

【委員】

ユーザー理解活動の四半期毎の活動を平準化できるように、例えば認知度調査などの実施時期の前倒しを検討してほしい。

【事務局】

了解した。

(2)議題②について

平成27年度第1四半期の運用の評価について、事務局から資料4-1から資料4-2にて説明し、案のとおり承認された。

3)議題③について

離島対策支援事業に関する報告書(案)について、事務局から資料 5 にて報告し、了承された。

<主な意見>

【委員】

審議を踏まえ報告書を確定させるとともに、報告書の要点をまとめた報告概要書を作成し、併せて公表すること。

【事務局】

了解した。

【委員】

各自治体(離島市町村等)に対しても、本報告書の配布を検討してほしい。

【事務局】

了解した。

【委員】

不法投棄等対策支援事業実施10年の活動を取りまとめた報告書を今年度中に作成すること。

【事務局】

了解した。

【環境省】

環境省としても不法投棄・不適正保管事案に関する課題等について自治体へのヒアリングを行い、JARCと共同で報告書を取りまとめていく。

※ その他、報告書の内容について、委員から修正の要望が複数あった。

(4)議題④について

自動車リサイクルシステムコンタクトセンターの次期委託事業者選定について、事務局から資料6にて説明し、案のとおり承認された。

<主な意見>

【委員】

コンタクトセンターへ寄せられたユーザーの意見や質問は、どのように反映されているか。

【事務局】

問合せの多い質問については、「よくある質問」としてホームページに掲載し、ユーザーが必要な情報を速やかに取得できるようにしている。寄せられた意見については、毎月CC運営部会にて情報共有し、その中で改善につながるものをピックアップし、業務改善に繋げている。

(5)議題⑤について

資金管理料金収支の見直しについて、事務局から資料7にて報告し、了承された。

(6)議題⑥について

次期資金管理料金について、事務局から資料8にて報告し、了承された。

(7)議題⑦について

リサイクル料金等収受に係る委託手数料の見直しについて、事務局から資料9にて説明し、案のとおり承認された。

<主な意見>

【委員】

別紙2の現行の委託手数料の算定ロジックについて、出典を示すこと。

【事務局】

了解した。

【委員】

別紙3-1の2.内の文章について、一部の表現を変更すること。

【事務局】

了解した。

【委員】

人件費以外のコストであるトナー代について、事業者から要望はあったのか。

【事務局】

事前に各団体にヒアリングをしたところ、トナー代の要望があった。また、トナー代は印刷に掛かる実費でもあることから、算入コストから削ることは難しい。

【委員】

実費(トナー代)を削ると、作業代に乘せることになると思う。実費を適切に払うことは、作業代も適切に払うことに繋がるので、この案にて異論はない。

【委員】

今後、委託手数料についても定期的に見直すこと。

【事務局】

資金管理料金改定のタイミングで一緒に見直す手順とする。

(8)その他、全体を通して

【委員】

審議会等で示された情報発信・共有等について、関係者の意見を聞きながら、その在り方を検討してほしい。

【事務局】

了解した。

以上